



『かぐや姫』

七夕の日の朝、のこぎりで竹を切っていると3歳の女の子が、  
Aちゃん「かぐや姫が出てくるかもしれないよ。」  
Bちゃん「かぐや姫の身体が切れちゃうよ。先生気をつけて切ってね。」  
保育士 「わかった。気をつけて切るからね。」  
ようやく切れた竹の中を覗いて  
Aちゃん「あれ？いないな……。」 Bちゃん「ほんとだー。」とがっかり。  
保育士 「ジャン！私がかぐや姫です！」すると保育士の顔を見て  
Aちゃん「あーあ、ザンネン！」 Bちゃん「あーあ、ザンネン！」  
保育士 「先生も、ガッカリ！」 みんなで大笑いしました。

荒高掲示板

県立荒砥高等学校

◆ 荒高体育祭完全燃焼

6月21日、本校恒例の「荒高体育祭」が開催されました。本校では『行事で育てる』を合い言葉として、一人ひとりの主体的な取り組みを通して、リーダーシップ、協調性、コミュニケーション能力などの育成を図っています。

「荒高体育祭」では、赤組、白組に分かれて、競技の得点と応援を競い合います。1組が赤、2組が白の縦割りの組編成です。3年生をリーダーとして異学年がいかに団結できるかが勝敗を分けます。両組ともに準備段階から様々な課題を克服して臨んでいるので、チームワークは抜群です。

競技ではどの生徒も全力で真剣に戦い、両軍からは力強い応援が響きます。まさしく、学校中が一体となって盛り上がりました。



応援合戦では、両軍ともこれまで練習してきた成果を一糸乱れぬ演技で披露して感動を与えてくれました。

総合優勝は赤組、応援賞は白組と順位は付きましたが、競技を終えて両軍抱き合いながら互いの健闘をたたえ合う姿に、生徒がこの行事を通して、一回りも二回りも成長してくれたことを実感しました。ご来賓の皆さんを始め、多くの方々に来校いただきまして、ことに感謝申し上げます。

町報川柳 「新」

- 新学期みんな仲良く登校日  
新風が吹いたおらだの町おこし  
新茶飲み梅干し一つ元気かな  
新聞の活字が脳の糧となり  
新一年生輝く未来第一歩  
無器量に生きた八十路で温故知新  
新緑の中で鮎食べこれぞ美味  
新人類そんな言葉も死語になり  
新春の今年の夢は無量大  
生きる者この新緑の時を待つ  
いろいろに使い道ある新聞紙  
新緑の故里訪ね元氣湧く  
新鮮な食べ物選ぶ今日もまた  
新妻が財布食材増税ハ  
新調の背広人生変えました  
新年度辞令交付が古い窓へ  
新鮮な野菜届けて電話待つ  
新入生踏みゆく花の校庭へ  
新鮮な浜活魚知る山育ち  
芽を出せと祈って蒔いた新野菜  
仏前に上げた新茶の良い香り  
新婚に描く夢とはほど遠い  
スタミナの切れないうちに打つ新手  
新天地夢に過ぎてく老の道  
新聞のインクの薫り朝を告げ  
新薬に頭かしげる名医あり  
今日もまた新しき事に向い合い  
新学期テストで苦労しつばなし  
新芽映え桜のにぎわい影ひそむ  
隣町新道出来て近くなり  
新しい庭を作って盆を待つ  
新聞の天気予報で日課決め  
新顔のハーモニカ聴きアンコール
- 長井市 安部ありな  
高岡 健一  
武蔵野 池田 武子  
山口 石川與次衛門  
荒砥甲 五十公野かをる  
大瀬 五十公野春己  
世田谷 糸 マサ  
鮎貝 植木 英夫  
浅立 梅津 義一  
浅立 梅津美千子  
滝野 海老名さち  
世田谷 遠藤 八重  
横須賀 大滝健次郎  
菖蒲 奥山 節子  
高玉 片山 時美  
菖蒲 小関 弘  
畔藤 佐藤 孝子  
荒砥甲 鈴木 トミ  
荒砥乙 鈴木美貴子  
鮎貝 関口 つや  
十王 平 恒人  
高玉 高橋 朝子  
荒砥乙 高橋 白兔  
荒砥乙 土谷 灯一  
荒砥乙 土屋 平敏  
箕和田 保科 努  
町田市 保高 悦子  
十王 松田 久一  
箕和田 迎田 留蔵  
ふしみ野 村上 桂造  
十王 守谷 三郎  
鮎貝 横沢 直太  
山口 渡部喜美子

次回「汗」七月二十五日まで。 「記念」八月二十五日まで。  
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場総務課企画室情報係 宛